

SANKYU SHIPPING INC.

- General Agents for – Taicang Container Lines Co., Ltd. (TCLC)-
5-23, Kachidoki 6-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-0054 JAPAN
Tel : +81-3-4334-3790 Fax : +81-3-3536-2279

令和元年 6 月 12 日
株式会社サンキュウ SHIPPING
総代理店部 オペレーションG

スチールコイル船積みの際の注意

拝啓、貴社益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

題記の件につきまして、コンテナ積載トレーラーの横転事故が多発し、2005年12月に国土交通省より、『国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン』が公開されております。

これにより関係者(荷主、船会社、フォワーダー、トラック事業者)は安全対策を講じることが必要と各社認識していることと存じます。

そこで、弊社としまして、この度、改めて、特に重量物であるスチールコイルの船積については、バンニング時の偏荷や不十分な固縛により、輸送途上でのトレーラーの横転、本船上での中身の転がりによるコンテナの破損、またコンテナの底抜けといった事故が多発していることを鑑み、人身、物損事故を未然に防ぐ為に以下の通り、積載方法(バンニング、固縛)についての安全基準を設定しましたので、案内の内容を参照の上、万全の対策を取られることを希望する次第です。

敬具

－ 安全基準 －

・ 3 トン/巻を越えるコイルの積付について

1. コイルのコンテナ床面への直置を禁止します。
2. 一本のクロスメンバーの耐荷重を(1.5 トン)、床板 1 メートルの耐荷重を(5 トン)とし、これを越えることがないように積付願います。これを越える場合は、2 本以上の角材(10x10cm 程度、長さはコイルの重さにより上記条件で決定)をクロスメンバーに対して直角に敷き、その上にコイルを置き、スキッドを履かせた状態とすること。
3. 敷いた角材とコイルの間に前後左右のチョッキングを施すこと。
4. 前後左右の転がりを防ぐ為、コイル半分程度の高さの枠(10x10cm 程度の角材を利用)をコンテナ内部壁面まで施すこと。
5. 更に、コイル中心部よりワイヤーまたはスチールベルトで固縛を行うこと。
6. バンニング時の写真(角度を変えて映したものの数枚)の提出をお願いします。

・ 7 トン/巻を越える積付について

基本積付要領は上記と同様とし、使用する角材は 15x15cm 以上のものを使用すること。

これらは積付のスタンダードな基準例となりますので、荷主の皆様はこれを参考にして頂き、輸送事故防止へのご協力をお願い申し上げます。

以上